

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	梅美台保育園	施設種別	保育所 (旧体系 :)
評価機関名	社団法人京都府保育協会		

平成 24 年 7 月 9 日

総 評	<p>梅美台保育園は平成 17 年 7 月に開設された新しい保育園ですが、その運営母体である社会福祉法人若竹福祉会は 4 つの保育園を運営しており、そこで蓄積された経験が、保育内容に活かされている保育園です。</p> <p>保育方針に「雑草のようにたくましく、野辺に咲く可憐な花のように、やさしく愛らしい子に育てる」を掲げています。保育目標にある「知・情・体・三位一体」の保育を、フラッシュカードや暗唱などをはじめとした「リズムとテンポで繰り返し」を基軸として、生活や遊びの中で体験できるようにしています。その内容は、0歳児から5歳児まで一貫しており、園全体で取り組む保育の方向性がしっかりと共有されています。</p> <p>地域子育て支援センター、子育て相談、園庭開放や、学童保育、分園の開園など、地域の子育て家庭を支える施設として、その役割を担っています。</p> <p>総園長・園長・主任を中心に、朝礼や会議等で園児の体調や伝達事項の把握に努め、子どもたちが保育園で安心して過ごすことが出来るよう取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未就園児を主に対象とした子育て相談、園庭開放、子育て支援センター、学童保育、地域中学生の体験学習受け入れなど、地域の子育て家庭に対しての様々な支援活動を行っています。また、出張保育を毎週実施し、近隣の公園で地域の親子や在園児を対象に、体操やゲームなどを行っています。 ・ 3～5 歳児は、専用のランチルームで、楽しい雰囲気の中で給食を食べています。親子クッキング、誕生会の給食試食、食育だより発行など、食育について保護者と共通理解が持てるよう取り組んでいます。また、園庭で育てている野菜や植物を食材としてクッキング保育で利用したり、日々の給食食材を展示するなど、子どもたちが食事に興味を持てるようにしています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、希望に応じて個別面談を実施していますが、今後は、子どもの育ちについて共通理解を得る機会として、また保護者からの要望を聴く機会として、定期的に全保護者を対象として実施されることが望ましいでしょう。 ・ 研修が、職員間の共通理解のもとで行われるよう教育・研修に関する基本姿勢を明示し、それに基づいた個別研修計画に沿って教育・研修を実施されるとより良いでしょう。

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	梅美台保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育教会
訪問調査日	2012年7月9日（月）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-2(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-2(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	B
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育の理念・基本方針・保育目標が明文化され、それらの内容は入園のしおりに掲載し保護者へ配布すると共に、各保育室に掲示しています。全職員にマニュアル関係を綴った「職員ファイル」を配布し、そこにも明記されています。

・園の保育理念に沿った保育課程が編成され、それに基づいて「保育計画年間表」が策定されています。また、月間指導計画の評価・反省を毎月実施しており、翌月の指導計画にその内容を反映させています。

・保育の計画は、入園のしおりに「一日の生活」として年齢ごとに記載し、保護者への周知を行っています。今後は、保育課程を保護者に周知されるとな良いでしょう。

・行政からの通達や案内など、遵守すべき法令等をファイルに閉じるなどのリスト化を図り、職員間で把握しやすい環境を整備されると良いでしょう。

・職員間で、年齢の違うグループや同年代のグループを作り、話しやすい雰囲気の中で定期的にミーティングを開催し、協力し合える環境を整えています。また、毎月全体研修会を開き、職員間で情報を共有し、保育の質の向上に努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	B
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A	B	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
[自由記述欄]				
<p>・職員から無記名式のアンケートを取っており、保育内容や就業内容についての意見を集約し、改善に努めています。</p> <p>・毎月の全体職員研修会や、年2回実施の法人研修、新任研修計画に沿った新人職員の研修を行っています。また、研修報告書の作成や、その発表などにも取り組んでいます。今後は、それらの取り組みが職員間の共通理解のもとで行われるよう教育・研修に関する基本姿勢を明示し、それに基づく個別研修計画に沿った教育・研修を実施されるとより良いでしょう。</p> <p>・実習生受け入れマニュアルやボランティア受け入れマニュアルがあり、そのマニュアルに基づいて実施し、担当者も決まっています。</p> <p>・未就園児を主に対象とした子育て相談、園庭開放、子育て支援センター、学童保育、地域中学生の体験学習受け入れなど、地域の子育て家庭に対する様々な支援活動を行っています。また、出張保育を毎週実施し、近隣の公園で地域の親子を対象に、体操やゲームなどを行っています。</p>				

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-1(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A A	A A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-2(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A A A	A A A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-1(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-1(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

・個人情報保護に関する規程や、苦情解決の仕組みが整備されています。それらは、職員マニュアルで全職員に周知するとともに、入園のしおりに掲載し、保護者に伝えています。

・今回の第三者評価受診に際し、職員会議で話し合い、保育や運営に関する内容を整備しています。また、職員の自己評価を年3回実施しており、自分の目標や改善点を確認し、自己を見直すようにしています。

・子どもの身体状況や、生活状況等を定められた書式により、記録・管理しています。

・毎朝の朝礼や、適宜開催する年齢別の会議で必要な情報が職員間で共有されるよう努めています。ミーティングノートに日々の伝達事項を記録し、延長保育担当の職員にも引き継がれるよう配慮しています。

・入園に際し、入園のしおりをもとに保育内容の説明を実施し、保護者の同意を得ています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	B
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	B

【自由記述欄】

・年2回の内科健診、年1回の歯科健診、耳鼻科健診、眼科健診を実施しています。その内容は、記録され家庭や保育で有効に反映されるよう伝達しています。

・3～5歳児は、専用のランチルームで、楽しい雰囲気の中で給食を食べています。親子クッキング、誕生会の給食試食、食育だより発行など、食育について保護者と共通理解が持てるよう取り組んでいます。また、園庭で育てている野菜や植物を食材としてクッキング保育で利用したり、日々の給食食材を展示するなど、子どもたちが食事に興味を持てるようにしています。

・各保育室などは毎日清掃し、清掃チェックシートがあり、清潔に保たれています。また、遊具等の安全チェック表があり、毎日点検しています。

・生活の場に相応しい環境となるよう、ホールなどの共有スペースを有効に活用しています。今後は、それぞれの保育室において、子どもがのびのびと活動できる環境を工夫されるとな良いでしょう。

・子ども一人ひとりの発達に応じて、ケース会議や朝礼等で情報を共有し、園全体で対応しています。また、幼児はグループ活動として、木琴、和太鼓、合奏など子どもが選んで体験できる時間が毎日設けられています。今後は、子どもたちが自発的に遊びなどの活動ができるコーナー保育などの環境を整備されるとより良いでしょう。

・周辺を閑静な住宅街や、広大な公園に囲まれており、園外保育を積極的に実施しています。また、リトミックや体操、楽器演奏などさまざまな表現活動が体験できるよう配慮しています。

・日々の保育内容は、乳児から幼児まで一貫したフラッシュカードや文字の音読などの活動を行っています。また、健康面の取り組みとして子どもたちに薄着を奨励しており、乾布摩擦にも取り組んでいます。

・園内では、5歳児が1歳児の面倒を見る機会を設けるなどの交流を行っています。乳児保育ではSIDSのチェックを含め、その環境整備に努めています。

・障害児は現在、在籍しておりませんが、過去においては専門機関と連携を図り保育を実施していました。今後、実施する際は個別計画を作成し、保育されると良いでしょう。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	B
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

・現在、希望に応じて個別面談を実施していますが、今後は、子どもの育ちについて共通理解を得る機会として、また保護者からの要望を聴く機会として、定期的に全保護者を対象として実施されることが望ましいでしょう。

・子どもの発達記録やケア記録など保育に必要な記録が整備され、保育内容に活かされています。

・一時預かり保育は、担当保育士を配置し、積極的に取り組んでいます。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

・衛生管理マニュアル、食中毒予防マニュアル、保育安全マニュアルなどの対応マニュアルを整備し、職員マニュアルにより全職員に周知するとともに、点検や訓練を実施しています。